
山口県肢体不自由児（者）父母の会連合会

＜団体概要＞

- ・県下各地域において、養護学校・肢体不自由児施設の設置や医療制度の充実に向けて活動していた「父母の会」は、昭和49年4月に山口県肢体不自由児(者)父母の会連合会として設立
- ・各県の父母、医療・教育・福祉関係者によって設立された肢体不自由児協会とは、市町段階では、一体的に運営されている。
- ・本会は現在5支部で運営しており、設立当初からの肢体不自由者及びその親が高齢化する一方、新規加入者は少なく、会員数は年々減少している。
- ・主な事業としては、会員相互の連絡調整により、肢体不自由児者の調査研究、教育福祉に関する啓発活動、療育指導を行っている。

＜重点事業・重点目標＞

1 重点事業

- (1) 肢体不自由児者への生活支援、保健医療、雇用、教育の充実
 - ① 障害児者に対する地域生活支援のための包括的な在宅サービスの充実
 - ② 障害児者にも居心地の良い社会の構築とノーマライゼーションの理念の浸透
 - ③ 災害時における障害者の避難支援について、理解促進や「福祉避難所」の充実
(国・県に対する要望事項)
- (2) 令和7年度会員研修会の開催
令和2年度以降中止となっている会員研修会の開催
- (3) 令和7年度地域指導者セミナーへの参加
全肢連が開催する地域指導者セミナーに参加

2 その他の事業

- (1) 表彰
第75回山口県総合社会福祉大会において、組織の活動に顕著な実績を納めた会員を表彰
- (2) 山口県肢体不自由児協会事業への協力
山口県肢体不自由児協会が実施する「第73回手足の不自由な子どもを育てる運動」及びその一環として行われる事業への協力
- (3) 全肢連事業への協力
「さわやかレクリエーション事業」の実施協力
- (4) 自動販売機の設置事業
地域の協力を得て、自動販売機の維持・増設による収入確保